

第13回在宅医療推進委員会への提出資料

報告者：高見 徹

<義方校区に地域包括ケアシステムのモデル地区をつくるプロジェクト>

1. 今までの取り組み

第1回 義方校区まちづくり会議

日時：平成27年6月23日

会場：義方公民館

参加者

- ・各自治会長
- ・民生委員会長
- ・義方校区の地域包括センター職員（中山さん他）
- ・米子市保健福祉課 小椋さん
- ・鳥取大学医学部地域医療学講座 谷口教授
- ・鳥取大学医学部保健学科 深田教授
- ・西部医師会 高見

議題

「認知症行方不明者捜索模擬訓練」

「地域包括ケアシステムの今後の方向」

について意見を聞いた。

結果：積極的な自治会で小規模でやってみる。災害対策でも何でも良いので

「どこで、だれが、どんなふうに生活しているかを把握する組織をつくり、刻々の変化に対応する。まずはこの組織作りに集中する。以上がまず、必要なことが分かった。

2. 今後の取り組み

今後は義方校区に地域包括ケアシステムを作り上げる。

1. 多職種を持っている情報を報告する会を作り、多職種で情報を共有する。
2. 情報を共有し多職種による保健・医療・介護・福祉のサービスを総合的に提供することで安心して地域で生活が出来るようにする。
3. これを続けることで地域づくりに結びつける。

以上が地域包括システムを義方校区に構築する基本設計図である。モデル地区にするためには3年が必要と考えている。